



～枕崎市教育委員会だより～

TEAMまくらざき

発行 枕崎市教育委員会
枕崎市中央町184番地
TEL 0993-72-0170
FAX 0993-72-0677

巻頭言

タイラー先生 お元気で

枕崎市教育委員会 教育長 木之下 浩一

本市のALT(外国語指導助手)のタイラー・ジョンソン先生が、今月末で5年の任期を終える。タイラー先生は、アメリカのイリノイ州シカゴの出身である。シカゴは、カナダとの国境沿いに広がる五大湖の一つであるミシガン湖の南部に位置し、アメリカ第3の大都市だ。湖を臨むシカゴから海を臨む枕崎にきたタイラー先生は、本市の生活や文化の特色を理解するのにさほど時間はかからず、学校や地域によく馴染み、大いに生活を楽しまれたようだ。

ある日、タイラー先生に英語で話しかけたところ、質問の英単語を忘れ、途中で詰まって困惑したことがあったが、タイラー先生が日本語で優しく語りかけてくれてとても助かったことを記憶している。そして、その流暢な日本語にも驚いたのだった。

アメリカ人であるが、どこか古式ゆかしき日本人の心を持ち、昔から知っている友人であるかのように感じる方だった。いつも、退庁する際には、誰から教わったのか、頭を下げながら「お先にありがとうございます!」とあいさつしてくれた。「あなたは日本人ですか」と尋ねたくなるくらい、日本人よりも日本人らしさを感じる方だった。

学校の指導では、人柄の良さから、子供たちや先生方と良好な人間関係を築いた。また、アイデア豊富な教材づくりに取り組み、楽しく分かりやすい授業づくりに努め、本市の英語力向上に励んだ。また、冬季休業から2月にかけて子供たちを英語好きにすることを目標にしたセミナーを指導主事とともに6回シリーズで担当してくれた。

プライベートでは家族も増えた。子供さんも生まれ、タイラー先生の人生の1ページに大きく枕崎の名が刻まれたことと思う。しばらくは、子供さんを連れて家族でシカゴに帰国されるそうだが、来日する機会があったら是非、枕崎に立ち寄っていただきたい。

ところで、17日に梅雨が明けてから毎日、うだるような暑さが続いている。夏休みに入り10日経った。子供たちは、朝早くからラジオ体操に行ったり、少年野球大会に向けて地域や保護者の方たちと夕方、練習に励んだりしているようだ。また、さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりが、5年ぶりの2日間開催ということもあり、子供みこしや職場・学校対抗の総踊りの審査に向けて、子供も大人も燃えている様子が見られる。さつま黒潮「きばらん海」枕崎港まつりのこの時期、枕崎市の活気が最高潮に達する。暑い中、一生懸命に活動している子供たちの姿にエールを送りたい。そして、夏休みを安全に、元気に過ごしてほしい。

8月の行事予定

日	曜	行 事
1	木	出校日・夏の就学相談会②・人権教育調査研究
2	金	夏の就学相談会③ 稚内市青少年交流派遣事業受入(本市～5日)
3	土	さつま黒潮「きばらん海」枕崎みなと祭り(～4日) 校外生活指導連絡会合同補導
4	日	さばらん海カッター大会 校外生活指導連絡会合同補導
5	月	県市町村教育長会・夏の就学相談会④ ICT活用に関する研修会・図書館休館日 青少年国際交流体験事業表敬訪問
6	火	定例教育委員会 子供の移動経路・通学路等の安全推進会議
7	水	子ども読書活動推進研修会
8	木	望ましい学校づくり審議会・すくすく講座
9	金	未来を拓くかごしまの教育シンポジウム(県民交流センター)
10	土	
11	日	山の日 リフレッシュウィーク(～17日)
12	月	振替休日
13	火	学校閉庁日(～15日) 図書館休館日
14	水	
15	木	
16	金	
17	土	青少年育成の日
18	日	家庭の日・市民会館休館日 金澤翔子展「席上揮毫」(南深館)
19	月	市教頭研修会④・図書館休館日 県民スポーツ大会結団式(南九州市ひまわり館)
20	火	会計年度職員研修会(学校教育課) 総務文教委員会所管事務調査(～21日)
21	水	出校日・市民あいさつ運動・地区館連絡会⑤ 地区学校給食物資納入業者食品衛生講習会(南九州市知覧文化会館)
22	木	教職員健康診断①・館内整理日(図書館) かつお釣り体験アドベンチャー研修会③ 第2回県指導主事会議(県民交流センター～23日) 県社会教育研究会夏期セミナー(県民交流センター)
23	金	教職員健康診断②
24	土	
25	日	
26	月	学校備品検査・図書館休館日
27	火	教職員健康診断③ SC・SSW研修会 南薩地区自治公民館経営研究会(南さつま市:いにしえホール)
28	水	市人権問題啓発研修会(午前・午後)
29	木	枕崎市コミュニティースクール研修会
30	金	
31	土	

枕崎市中学生弁論大会の開催

7月5日(金)に、枕崎市市民会館で枕崎市中学校弁論大会を開催しました。枕崎市内の4中学校の2年生が一堂に会し、各中学校代表2人、合計8人の弁士が弁論発表を行いました。

また、この大会は例年中学校生徒連盟が中心となって企画・運営を行っている大会であり、今年度も各学校の代表メンバーが大会運営を行いました。

8人の発表者は、普段生活している中で疑問に思ったことや自分なりに考えていることなどを、身振り手振りも交えながら、多くの聴衆に分かりやすく伝えることができました。参加者も、弁論の内容から多くのことを学ぶとともに、人に物事を分かりやすく伝えることの大切さを改めて実感させられたのではないのでしょうか。



素晴らしい発表を行った8人の生徒



弁論大会の運営を行った10人の生徒

令和6年度市民あいさつ運動標語 審査結果

市民一人一人が、あいさつをとおして相互の融和を図るとともに、住みよいまちづくりをめざしていくために、例年市民あいさつ運動標語の作品募集を行っています。今年度は、小学校から737点、中学校から347点、高等学校から90点の計1,174点の作品応募がありました。御協力ありがとうございました。

市民によるあいさつをとおして、枕崎市全体を明るく、元気なまちにしていきたいでしょう。

今年度の小・中学生9人の最優秀賞受賞者を紹介します。(右横→)

令和6年度最優秀賞受賞者 (敬称略)

- 枕崎小1年 鮫島 弘潤
- 別府小2年 板敷 一平
- 別府小3年 豊留 唯
- 別府小4年 小城 湊世
- 桜山小5年 松野下 一千桜
- 桜山小6年 猪谷 秀悟
- 別府中1年 西之原 桜伽
- 立神中2年 上村 香凜那
- 枕崎中3年 山崎 麻悠

令和6年度最優秀賞受賞者(各学年)の作品展示の様子。各学年の最優秀賞受賞者の作品が並び、市民のあいさつ運動の成果が一目でわかります。

県図画作品展枕崎市審査会の開催

今年度は、幼稚園からの作品12点を含む、全103点が出品され、鹿児島市立美術館の学芸アドバイザーである花山潤治先生をお迎えして、各学校の図工・美術を担当する職員と一緒に審査が行われました。各学年の発達段階に相応しく、甲乙のつけがたい作品ばかりでした。



審査会の様子

また、審査の前には、花山先生から水彩画の指導のポイントについて講義があり、来年度の作品制作の指導に活かされることが期待されます。

多様な子供たちを尊重する教育～特別支援教育～

枕崎市では、小中合わせて24学級の特別支援学級とひとつの通級指導教室があり、市内には3種類の特別支援学級が設置されています。

今回は、特別支援学級ではどのような配慮を実施して学習を進めているのか紹介します。このような配慮をしています。

知的障害学級…日常生活や社会生活を送る上で必要な知識や技能等を身に付けられるようにする継続的、段階的な指導を行っています。

自閉症・情緒障害学級…他人との意思疎通に関わることや対人関係、社会生活への適応など学習上・生活上の困難さを改善する指導を行っています。

肢体不自由学級…子供一人一人の肢体不自由に伴う身体の動きやコミュニケーション等の障害の状態等に応じた指導を行っています。